



2015.6.15
コチ コンサルティング

昨年年初から、中国独特の人口調整政策であった計画生育政策（≒一人っ子政策）に大きな改定がなされ、第二子生育の基準が拡大されましたが、急激な高齢化により“未富先老”（裕福になる前に老いる）が危惧される中、各地の地方政府は優秀な労働力の確保に政策転換を図る動向がみられます。深圳市では6月1日より《深圳経済特区居住証条例》が施行されています。上海市でも6月末から7月初旬に新政策が施行となると報道されています。

本号では、“人材引進政策”（人材導入政策）の動向をご報告いたします。

内容 【人事・労務情報】

■人材受け入れ政策“人材引進政策”の動向

《深圳経済特区居住証条例》6月1日施行 【深圳】

外地戸籍人材、外国籍人材の受け入れ条件緩和の動向 【上海】

【コラム】

■大学入試替え玉事件

人事・労務情報

■人材受け入れ政策“人材引進政策”の動向

●《深圳経済特区居住証条例》6月1日施行【深圳】

6月1日施行の条例では、深圳経済特区の居住証保持者が深圳市戸籍を申請できるとされ、詳細は7月中公示としています。

同条例では、家主または又貸し家主に対し、非深圳戸籍人材へ不動産賃貸をする場合の届出を義務化し、違反の場合の罰金（1,000元）を規定しています。外地戸籍人材が居住を開始した場合、適正な人材には居住証を付与し、同時に戸籍付与の機会を増大させる政策と考えられます。

・特区の居住証申請には下記2点が規定されています。

①特区に合法・安定的居住地を有する。居住登録から居住証申請までの期間で連続12か月以上居住していること。

②特区内にて合法・安定的な就業実績がある。居住登録から居住証申請までの期間で連続12か月の社会保険納付履歴または、居住証申請時以前の2年間に累計18か月の社会保険納付履歴を有すること。

●外地戸籍人材、外国籍人材の受け入れ条件緩和の動向【上海】

上海市では、6月下旬から7月初旬にかけて、居住証政策、人材受け入れ政策に関する新たな条例の公布が予定されています。

【戸籍】

現在：上海市居住証保持者で社会保険納付履歴が継続7年を超えた場合は上海市戸籍の申請可能。

改定：最短を2年とし、3年、5年、7年と条件設定を検討中。戸籍申請に柔軟性を持たせる。

参考 居住証制度：<http://cochicon.com/1-4-1/>

《上海市居住証管理弁法》：<http://cochicon.com/1-4-2/>

【国際イノベーション人材】

イノベーション人材（革新的事業創造人材）には上海市永久居留権（永住権）の試行付与により、永久居留権の条件緩和、手続き簡素化を開始する。

Consulting

【外国人専門家】

現在：60歳定年、帰国措置。

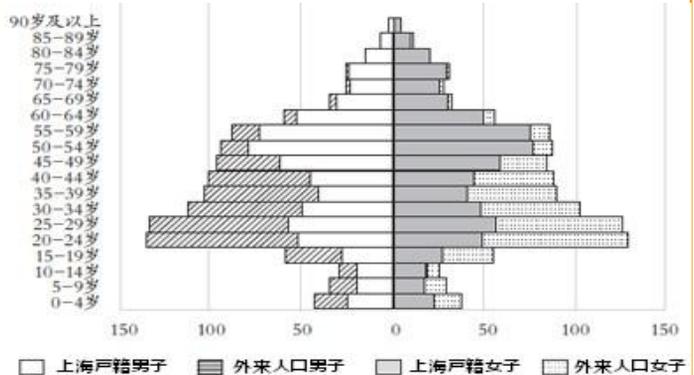
改定：最大65歳に延長。上海市では条件に符合する（特定分野の専門家。エンジニアに限らず、語学講師等広範囲の専門家が含まれる）人材に対し優先的に“專家証”を発行し、年齢制限を拡大している。

【外国人留学生】

現在：中国の大学留学生であっても、海外での2年以上の職務経験がなければ就労は許可しない。

改定：外国人留学生の上海市大学卒業後の上海市での直接就労許可を検討中。特に、修士以上学位保持者を先行して試行予定。

NAVI 右図は2010年第六次全国人口調査における上海市の人口構成です。20歳未満の人口と女子50歳、男子60歳以上の人口との差異は大きく、今後の労働人口不足問題の顕在化が明確です。また、労働人口のうち16～44歳の層では外来人口の比率が5割を超える状況であり、上海市の労働者補充は、外来人口に支えられている現状が顕かです。これらの現状から、上海戸籍の門戸拡大、外国人受け入れ拡大政策が採られていると考えられます。



コラム

大学入試替玉事件

本号でご報告している戸籍制度…大都市の戸籍取得を希望する最大の理由は、子女の大学入試を優遇するためと言われています。

6月7、8日は中国の「全国大学統一入試（通称：高考（ガオカオ）」）でした。一斉に試験を受けるとい点では日本のセンター試験のようなイメージですが、大きく異なるのは中国ではこの「高考」の試験結果のみで大学の合否が決まることです。まさに一発勝負。それゆえ学生や親たちの力の入れようは半端ではありません。

以前のメルマガでも取り上げましたが、一流大学卒業か否かで初任給も大きく変わってくるという現実もあるため、絶対に失敗が許されないというプレッシャーの下不正行為も後を絶ちません。手っ取り早く行われるのがカンニングで、さまざまな電子機器を駆使するハイテクカンニングが行われれば、学校側も電子機器の持ち込み禁止から妨害電波まで対策に暇がありません。そして、さらにその上を行く不正行為が替玉受験です。

昨年河南省で160名もの受験生が関与した大規模替玉受験が摘発されたのは記憶に新しいところですが、今年も江西省で替玉受験が発覚し、9人が逮捕され、主某者も捕まったようです。学校側も対策を立てており、顔写真の入った受験票はもちろんの事、指紋認証による登録まで行なっているにもかかわらず、替玉受験が行われているということです。

中国では偽の学歴証明書が簡単に入手できる現状ですが、大学合格自体に疑義があるとなると、採用に際しての見極め力がさらに重要になります。

参照リンク：中国の教育制度：<http://cochicon.com/1-5/>
211工程大学：<http://cochicon.com/1-5-4/>
211工程大学,985工程大学リスト：<http://cochicon.com/1-5-5/>

